

令和4年度

事業報告書

令和4年4月1日から

令和5年3月31日まで

公益財団法人沖縄県学校給食会

令和4年度事業報告

<管理部門>

I 組織（令和5年3月31日現在）

役員、評議員、職員および各種委員会

1 役員等

評議員	理事	監事
10	7	2

2 職員（ ）内は会計年度職員

事務局長	統括監	総務課	物資課	業務課	食品検査 食育支援室	委託職員
1	1	3（0）	9（2）	3（1）	2（2）	運転手 12 作業員 4

3 各種委員会

物資委員会	パン品質調査会	物資流通情報センター
26	12	7

4 役員等に関する事項（令和5年3月31日現在）

（1）評議員 定数：8名以上12名以内 現在数：10名 任期：4年

役職名	氏名	所属名 職名
評議員	大田 出	国頭村立安波小学校 校長
評議員	宜保 律子	沖縄県学校栄養士会 会長
評議員	牧野 成人	那覇市教育委員会学校給食課 課長
評議員	井口 直子	琉球大学農学部亜熱帯生物資源学科 准教授
評議員	玉城 博紀	（一社）沖縄県PTA連合会 理事
評議員	山城 健	（元）沖縄県学校給食会
評議員	前原 昌直	（元）沖縄県学校給食会
評議員	池原 誠	北谷町立学校給食センター 所長
評議員	宇地原 勇	八重瀬町教育委員会学校教育課 課長
評議員	喜久本 直貴	沖縄県教育庁保健体育課学校安全・給食班 班長

（2）理事 定数：6名以上9名以内 現在数：7名 任期：2年

役職名	氏名	所属名 職名
理事	城間 敏生	沖縄県教育庁保健体育課 課長

令和4年度事業報告

理事	又吉 元晃	那覇市立曙小学校 校長
理事	杉本 龍	(一社) 沖縄県 PTA 連合会 理事
理事	知花 正人	読谷村教育委員会教育総務課 課長
理事	嘉数 勲	J A おきなわ 農業振興本部 さとうきび振興部 次長
理事	新垣 悦男	公益財団法人 沖縄県学校給食会 理事長
理事	澤岨 寛稔	公益財団法人 沖縄県学校給食会 常務理事

(3) 監事 定数：2名以内 現在数：2名 任期：2年

役職名	氏名	所属名 職名
監事	島 史生	(一社) 沖縄県 P T A 連合会 事務局長
監事	松村 嘉英	沖縄県立那覇商業高等学校 校長

(4) 役員等及び職員の異動

役職名	氏名	異動年月日	摘要
評議員	砂川 龍也	令和4年6月22日	辞任
評議員	牧野 成人	令和4年6月22日	就任
監事	與那覇 正人	令和4年6月22日	辞任
監事	山里 望	令和4年6月22日	辞任
監事	松村 嘉英	令和4年6月22日	就任
監事	島 史生	令和4年6月22日	就任

II 会議

1 理事会

第1回通常理事会：令和4年6月2日

第1号議案 令和3年度事業・計算書の承認

第2号議案 定時評議員会の招集の決定

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

第1回臨時理事会：令和4年7月4日

書面決議 公益財団法人沖縄県学校給食会職員の表彰について

第2回通常理事会：令和5年3月8日

第1号議案 令和5年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

第2号議案 臨時評議員会招集の決定

第3号議案 公益財団法人沖縄県学校給食会人事等規定の一部を改正する規程

第4号議案 役員賠償責任保険契約について

令和4年度事業報告

- 第5号議案 公益財団法人沖縄県学校給食会事務局人事について
報告事項 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

2 評議員会

第1回定時評議員会：令和4年6月22日

- 報告事項 令和3年度事業報告
第1号議案 令和3年度決算報告書の承認
第2号議案 評議員1名選任
第3号議案 監事2名選任

その他 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

第1回臨時評議員会：令和5年3月23日

- 報告事項 令和5年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
その他 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

3 監事会：令和4年5月27日

- 令和3年度理事の職務執行の監査
令和3年度事業報告及び決算内容監査

III その他

- 1 HACCPの手法を取り入れた、本会「取扱物資の安全確保に関する衛生管理マニュアル」に沿った物資の管理を実施し、取扱物資の安全性を確保した。
- 2 (公財)沖縄県学校給食会特定費用準備資金等取扱規則に基づき、令和4年度貸借対照表の事務所及び倉庫等建設積立資産に令和3年度剰余金26,475,649円を計上した。
- 3 令和2年度に国や沖縄県の緊急事態宣言を受け、感染拡大防止をより一層強化し、迅速な対応ができるよう「新型コロナウイルス感染症に本会職員が罹患した場合の緊急的対応について」を策定。令和4年度においても感染防止対策の徹底を実施した。また、本会業務運営においても、普及充実及び食育推進支援に関する事業の一部が中止やオンライン形式等の規模縮小で開催された。
- 4 本会が選定したパン及び米飯加工委託工場は零細小規模の学校給食専門業者のため、新型コロナウイルス感染防止を目的に学校臨時休業等による影響で、経営状況が厳しい状況下にあることを踏まえ、学校給食用パン及び米飯の安定供給を維持するため県内各自治体へ「地方創生臨時交付金」等を活用したパン及び米飯加工委託工場への支援要請を行った。その結果、令和4年度中に7市町総額9,409,388円が6工場へ交付された。
- 5 本会の取扱う学校給食用玄米については平成23年9月以降、西日本地域産を供給していたが、地球温暖化の影響等による不作等のリスク分散及び安全性の確認を

令和4年度事業報告

図りながら、良質な玄米を安定供給するため、令和4年8月17日に学校給食関係者による「学校給食用物資の安全性について」の懇話会を開催。その懇話会の意見等を踏まえて、供給する米穀の産地は東日本を含めた全地域を対象にすることとした。そのことから令和4年度産玄米は山口県産、福岡県産、熊本県産を取り扱う事となった。

- 6 昭和37年8月4日に特殊法人琉球学校給食会として設立後、令和4年度で創立60周年となった事から、①創立60周年記念式典を令和4年11月19日に沖縄産業支援センターにて開催、②学校給食に関する図画作品コンクール、③本会PR用DVD映像制作、④記念誌発刊の記念事業を実施した。また、沖縄県学校栄養士会と共同で作成した2015年から2020年までの6年分の食育カレンダーを1冊にまとめた冊子を発行し、1,100部配布した。

<事業活動>

I 学校給食支援事業（公益目的事業1）

1 学校給食用物資の安定供給に関する事業

(1) 取扱物資の計画的確保と安定供給

○学校数及び給食人数

区分	ミルク給食	完全給食				合計
	幼稚園	幼稚園	小学校	中学校	高校定時	
校数	58	108	267	148	7	530
人数	2,194	5,927	107,597	55,122	1,607	170,253

○給食用物資供給先

	共同調理場数	単独調理場数	計
4年度	68	53	121

○取扱物資数

区 分		品 数	主な商品
一般物資	常温冷蔵	261	県産パン缶詰、醤油、黒糖、乾物他
	冷凍物資	275	かぼちゃ、ほうれん草、県産もずく他
基本物資		39	牛乳、精米、米飯、脱脂粉乳他

○物資別供給金額

物資名	令和4年度	令和3年度	増減額
一般物資	1,342,204,266 円	1,154,232,524 円	187,971,742 円
基本物資	3,466,063,452 円	3,163,895,493 円	302,167,959 円
計	4,808,267,718 円	4,318,128,017 円	490,139,701 円

○基本物資別使用量

物資名	区 分	令和4年度	令和3年度	増 減
小麦粉	パン給食用	212,623 kg	198,525 kg	14,098 kg
	麵 用	45,500 kg	42,525 kg	2,975 kg
	副食用	7,277 kg	5,825 kg	1,452 kg
	小 計	265,400 kg	246,875 kg	18,525 kg
脱脂粉乳	パン用その他	8,637 kg	7,379 kg	1,258 kg
米 穀	米穀用(精米)	1,645,230 kg	1,528,580 kg	116,650 kg
パン副原料	砂糖他	28,368 kg	25,793 kg	2,575 kg
牛 乳	県産生乳等	31,939,664 個	29,286,297 個	2,653,367 個

令和4年度事業報告

○ 冷凍食品合同選定会（九州8県）

冷凍食品合同選定会（年3回）は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和4年度2学期分及び3学期分は中止となった。令和5年度1学期分は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、福岡県にて開催された。

今年度は、九州ブロック推奨品または共通選定品として、計14品目を九州全ての県で供給することになった。本会の令和4年度の九州ブロック推奨品または共通選定品の供給実績は、1学期分301,155食、2学期分264,786食、3学期分153,968食を供給した。

○ 中国・九州地区共同購入会議

中国・九州地区共同購入会議（年4回）は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、7月は書面開催となったが、10月、12月、2月は予定どおり開催した。選定された物資435.0t、59品目を計画的に確保した。

（2） 教育の機会均等

- 本会が取り扱う物資は離島含めた県内すべてのセンター、共同調理場、学校等へ供給。商品の送料負担はなく、全県地域に同一商品を同一価格で供給している。

（3） 基本物資（パン・米飯・麺・牛乳）供給工場

区分	北部	中部	那覇	南部	宮古	八重山	合計
パン及び米飯	－（－）	3（3）	2（2）	3（3）	1（1）	－（－）	9（9）
パンのみ	1（1）	1（1）	－（－）	－（－）	1（1）	0（0）	3（3）
米飯のみ	1（1）	1（1）	－（－）	－（－）	1（1）	1（1）	4（4）
麺	1（1）	1（1）	－（－）	－（－）	1（1）	2（2）	5（5）
牛乳	－（－）	1（1）	1（1）	1（1）	1（1）	1（1）	5（5）
計	3（3）	7（7）	3（3）	4（4）	5（5）	4（4）	26（26）

*（ ）内数字は前年度の工場数。

- 経営規模が零細な加工委託工場に対し、適正な品質を堅持するため本会が設備・備品などを無償貸し付等で支援。本年度実績は2件、助成額135,184円。

（4） 適正価格での供給

- 共同購入した実績は7月会議(9品、66.0t)、10月会議(9品、64.0t)、12月会議(15品、173.0t)、2月会議(26品、132.0t)、合計59品、435.0tであった。
- 保護者負担軽減の観点から令和4年度は下記のとおり助成した。

区分	令和4年度	令和3年度	増減
米飯	23,857,454円	23,817,727円	39,727円
精米	7,189,337円	7,970,995円	▲781,658円
計	31,046,791円	31,788,722円	▲741,931円

令和4年度事業報告

- *助成単価は米飯、精米とも10kg当たり186.61円で実施。
- 物資流通情報モニター委員7名に学校給食会以外の問屋から令和4年11月から令和4年12月の間に購入した商品と本会取扱物資を比較した結果、仕入値が適正であるかの判断の材料とした。
- 一般市場の販売価格動向については本会営業担当者にて令和5年2月において量販店、業務用スーパー等の動向調査を実施した。本会の取扱う商品は、それらの販売価格を100とすると98.5%の安価な価格で供給できているとの調査結果であった。

(5) 公正な物資選定

- 物資委員会(年3回)は、学校給食実施校代表、県教育委員会、県環境保健部、衛生機関、市町村給食関係代表者、栄養教諭、栄養職員、学識経験者、PTA代表等の各委員で構成。第1回物資委員会は新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止とし、第2回物資委員会並びに第3回物資委員会は通常開催した。その結果、第2回物資委員会(4品)、第3回物資委員会(4品)を給食会推奨品として選定した。また、令和4年度選定品の期間中の使用食数は合計142,403食、金額合計は3,732,478円であった。

2 学校給食物資の安全性確保及び衛生管理に関する事業

(1) 取扱物資の安全性確保

ア 基本物資

- 米穀のDNA鑑定、残留農薬検査・カドミウム検査を5回、品質検査を12回、日本穀物検定協会へ依頼実施し、検定料774,400円となった。
- 小麦粉の検定を日本穀物検定協会へ12回依頼実施し、検定料192,028円となった。

イ パン・麺・牛乳

- パン品質調査会は7月8日、10月21日、令和5年3月17日に開催し、県内の栄養教諭、栄養職員が参加した。参加者は外部講師の指導のもとパン委託加工業者のパン品質判定を行い、その結果は広報誌、ホームページで情報を開示した。
- パンの水分測定、細菌検査(抜取検査)は6月29日、令和5年3月7日に計31検体実施した。
- 牛乳抜き取り検査は、7月13日、12月14日、令和5年3月1日に計15検体実施した。
- 麺の細菌検査(抜取検査)を6月1~8日、10月31~11月16日、令和5年2月13~20日に計45検体実施した。

ウ 一般物資

- 中国九州地区共同購入物資の農薬検査及び放射能検査を一般財団法人日本冷凍食品検査協会に依頼。検定料は704,000円であった。
- 九州地区冷凍食品共通推奨品の農薬検査及び放射能検査を一般財団法人日本冷凍食品検査協会に依頼。検定料は100,926円であった。
- 本会検査室で行う一般物資等の自主検査（細菌検査）は638検体を検査した。
- 行事食等の放射能検査（外部委託）は19検体を検査し、検定料418,000円であった。
- 中国九州地区共同購入物資以外の商品について、平成29年度より2年毎の残留農薬検査（外部検査）を開始。本年度は実施なし。

エ 緊急時の危機管理と保険

- 本会では食中毒などの緊急時に対応するため「学校給食会物資取扱危機管理マニュアル」に沿った対応が出来るよう、事務所内に掲示し、職員で読み合わせ等実施した。また、万が一の事故に備えて「食品営業賠償共済保険」（対人賠償1人1億円、1事故10億円）に加入した。

オ 取扱物資の情報と検査結果の開示

- 本会が取り扱う物資は商品名、包装規格、価格、栄養成分、アレルギー表示、商品説明を記載した「令和4年度取扱物資案内書」を作成し、離島含めた県内すべてのセンター、共同調理場、学校等へ配布した。
- 本会検査室で実施した検査内容及び検体数等は下記のとおり。またその結果については、広報誌等で情報を開示した。

項目	内 容	
細菌検査	一般物資（取扱物資）	610 検体
	選定物資（行事食サンプル含む）	28 検体
	基本物資（ミルク）	15 検体
	基本物資（パン）	31 検体
	基本物資（めん）	45 検体
理化学検査	ミルク成分規格試験等	46 検体
事故品検索	基本物資	28 件
	一般物資	116 件
調理場からの依頼	事故品・混入異物等の調査	59 件
	自主検査のための検査室開放	2 件
委託工場の衛生指導	工場調査および衛生指導	20 件
	自主検査のための検査室開放	0 件

令和4年度事業報告

(2) 学校給食用物資の衛生管理事業

ア 加工委託選定工場

- 検査室において、重点調査3件、巡回調査11件、立ち入り調査等6件実施した。また、検査室は年間を通して開放している。
- 毎年7月に開催され、本会職員が衛生管理向上に努めるよう注意喚起をしている沖縄県学校給食パン協同組合主催の「衛生講習会」は、新型コロナウイルス蔓延防止のため中止となった。
- 異物混入事故の対策として、委託工場の経営者等の責任者を対象に学校給食用パン及び米飯加工委託工場衛生管理研修会を令和5年2月17日に開催した。研修会では、令和4年度に発生した事例に基づき、原因や対策等について報告するとともに検査室担当者より異物混入対策について資料を基に研修を行った。
- 本年度の衛生管理ポスター作成は無し。
- 本年度の検査器具の貸与は0件。

イ 一般物資関係工場

- 計画的に工場視察を行い、不適切な部分についての改善指導を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止となった。
- 物資選定に係る工場の衛生環境の確認のための視察について、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、1件実施した。
- 一般物資関係工場の検査室利用の実績は無し。

ウ その他

- 全職員毎月1回の検便及び年1回の健康診断を実施した。その検便結果を15センターへ報告した。選定工場に対しても同様な検便と健康診断の実施を指導した。
- 全職員及び委託職員を含め10月から1月の間にノロウイルス検査を実施した。
- 全職員のインフルエンザ予防接種費用の半額助成を実施した。

3 学校給食の普及充実及び食育推進の支援に関する事業

(1) 学校給食の普及充実事業

ア 各種研修・講習会等の事業

- 「学校栄養職員初任者研修」(主催：県立総合教育センター)で新規採用職員3名に対し、本会職員が、「衛生管理の実際～細菌検査を通じて～」、「細菌培養検査の結果と活用」、「学校給食基本物資について」、「学校給食一般物資について」の講師を務めた。
- 栄養教諭・学校栄養職員を対象として食の指導など資質向上のため講師を招聘して「栄養教諭・学校栄養職員講演会」(主催)を6月24日に本会大会議室でオ

ンラインにて開催。オンライン参加者 69 名、現地参加者 7 名。FR 教育臨床研究所所長 花輪敏男氏による「特別な支援を要する児童生徒の支援について～栄養教諭・学校栄養職員等が留意すべきこと～」の講演を実施した。

- 栄養教諭・学校栄養職員を対象として調理技術・資質の向上を図るとともに、学校現場における指導に役立てるため「学校給食調理講習会及び研修会」(共催)を例年開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、8月1日に「栄養教諭・学校栄養職員調理講習会」を2月24日に「栄養教諭・学校栄養職員研修会」をそれぞれオンラインで開催した。「栄養教諭・学校栄養職員調理講習会」では本会調理室にて、琉球料理传承人の名城志野氏、上野聖子氏、大濱心枝氏によるソーミンタシヤー、チールンコウ、花ぼうるのデモンストレーションと琉球料理と伝統的な食文化についての講話があり、オンライン参加者 77 名、現地参加者 2 名だった。「栄養教諭・学校栄養職員研修会」では本会大会議室で、沖縄協同病院小児科 尾辻健太医師による「食物アレルギー診察ガイドライン 2021 について」の講演があった。オンライン参加者 75 名。現地参加者 5 名だった。
- 学校給食調理従事者の調理技術の研鑽と意欲の向上に資するため「地場産物を活用した学校給食献立発表会」(主催)を、本会調理室・大会議室にて例年開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から発表会を中止とし、各地区 11 チームの献立をまとめた「地場産物を活用した学校給食献立集」を 800 部発行した。
- 沖縄県高等学校 P T A 連合会と共催し、保護者・生徒・教職員を対象に学校給食を通して食の知識を深めるための「P T A 食育研修会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。
- 県教育委員会が主体に「第 22 回沖縄県健康教育研究大会」(主催)を令和 5 年 2 月 3～13 日に WEB 開催で録画配信した。特別講演に岡部麻里氏による「医師教員の小講話三題―海外・小児科・大学―」の演題で講演があった。
- 学校栄養士会及び沖縄県教育委員会と共催で、令和 3 年度より開設した栄養教諭及び学校栄養職員を対象に医師等の専門家に食物アレルギー等の相談ができる「学校給食の安全に関する相談窓口」では、令和 4 年度は 18 件相談があった。

イ 衛生管理支援事業

- 県教育委員会と共催し学校給食調理場所長、栄養教諭等、調理従事者を対象に行う「衛生管理(細菌検査)実技講習会」(主催)を 11 月 10 日、11 日に八重山教育事務所研修室にて開催した。本年度は八重山地区対象の 8 調理場 13 名が参加。初日は本会職員による細菌検査実技指導、沖縄県環境科学センター主任技師による「学校給食における衛生管理」の講義、二日目は細菌検査結果の発表等が行われた。

令和4年度事業報告

- 栄養教諭等への検査器具の無償貸与及び検査室の開放を行う「学校栄養教諭等衛生管理支援事業」の検査器具貸出14件。内訳は手洗いチェッカー5件、ATP測定器7件、簡易ふ卵器2件。各調理場等における食材、食器具等の細菌検査残留試験を行う「学校給食調理場衛生管理支援事業」の依頼は2件。
- 本年度の学校給食調理場における異物混入等の調査依頼は59件、自主検査のための検査室利用は無し。
- 県教育委員会と共催で「県立学校給食調理及び衛生管理講習会」を7月26日にオンラインで開催。本年度は琉球薬膳料理研究家宮國由紀江氏による「子どもが美味しく食べられる県産野菜を使用した薬膳料理」、沖縄県環境科学センターの講師による「学校給食における衛生管理について」、県教育庁保健体育課指導主事による「学校給食における衛生管理等について」、本会職員による「検査器具を活用した衛生管理」の講習を実施した。

ウ 広報活動

- 広報誌「うちなー」は第114号(1,000部)を7月、第115号(1,000部)を11月、第116号(1,000部)を令和5年2月に発行した。
- 本会の業務内容等の情報提供をホームページで随時更新した。
- 本年度においても学校給食に関するリーフレット、パンフレット等は無償配布した。又パネル等は学校等関係先へ随時無償貸出を実施した。
- パネルの貸出実績は6件。
- 毎年沖縄県教育委員会と共催し、学校給食の一層の充実発展を図るため、給食週間における取り組みを視察し、情報交換等(①学校長による取り組みの説明 ②児童生徒との給食の会食)を行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。

エ 図書資料等の貸出

- 本年度の専門書籍貸出1件、紙芝居12件、ビデオ等貸出1件であった。

オ 関係団体への助成

- 本年度の助成額は、1,600千円であった。

団体名	助成額
沖縄県学校栄養士会	650,000円
沖縄県学校給食研究協議会	150,000円
沖縄県高等学校給食研究協議会	100,000円
特別支援学校給食研究会	150,000円
共同調理場連絡協議会	150,000円
沖縄県健康教育大会負担金	150,000円

令和4年度事業報告

沖縄県健康教育研究大会指定校（学校給食普及充実事業） ①浦添市立当山小学校	70,000 円
沖縄県学校給食研究協議会指定校（食習慣改善実践事業） ①浦添市立神森小学校、②沖縄県立泡瀬特別支援学校	180,000 円

カ 本会施設の開放

- 本会の調理室及び会議室等を学校給食関係者及び学校教育関係団体等へ無償貸出を行い、利用実績は100回であった。

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	計
会議室	27回	21回	22回	23回	93回
調理室	0回	6回	0回	0回	6回
図書室	0回	0回	0回	1回	1回
計	27回	27回	22回	24回	100回

(2) 食育推進の支援事業

ア シンポジウム、研修・講習会の開催

- 沖縄県教育委員会、沖縄県PTA連合会、沖縄県学校栄養士会、沖縄県学校給食研究協議会と共催し「食育シンポジウム」を、「生涯にわたって心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ食育の推進」～うりひゃー・でーじなとん！できることから始めよう～をテーマに掲げ、例年8月に開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。
- 沖縄県学校栄養士会と共催で開催している「食と子どもの健康展」は、①特設サイトの制作・公開（全6地区及び特別支援学校の地場産物を活用した献立や食育の取り組みの紹介、給食センターや生産者の動画、食育クイズを掲載）、②北部地区食と子どもの健康展（7月21日～27日にイオン名護店で地場産物や給食センターの紹介、食育クイズや行事食に関する資料の展示）を行った。
- 全6地区及び特別支援学校の児童生徒と保護者を対象に各地区で例年開催している「学校栄養士による家庭・地域と連携した食育実践講座」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった地区もあり、令和4年度は計1回の開催となった。開催した特別支援学校では新型コロナウイルス感染症防止対策を講じ、12月5日（月）に沖縄県立沖縄盲学校にて参加者4名に「学校給食から栄養バランスのいい食生活を考えよう」というテーマで実施した。

イ 食育推進のための教材等の貸出事業

- 本年度の教材等の貸出回数は、フードモデル11回、琉球漆器24回、バイキング食器7回、ランチ皿6回、その他食器6回、指導用教材0回であった。
- 本県独自の食文化を子どもたちに伝えることで、地域への関心を高め、生命を

令和4年度事業報告

育む自然への畏敬の念や郷土を愛する心を養うことを趣旨に食育カレンダーを沖縄県学校栄養士会と共同で作成していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から作成委員会の開催を中止とし、市販の食育カレンダーを学校給食関係者等へ900部配布した。

ウ 地産地消の推進

- 県産米は、本会年間玄米使用量1,645tのうち約7.5%にあたる124tをJA沖縄から購入し、県内児童生徒へ供給した。
- 牛乳は年間で31,939,664個を供給。その内訳は、県産牛乳を使用し県内で製造した牛乳が27,674,284個86.6%、県外産牛乳を使用し県内で製造した牛乳が1,438,015個4.5%、県外で製造した牛乳が1,195,227個3.7%、加工乳が1,020,286個3.2%、乳飲料が611,852個1.9%となった。
- その他に、JA沖縄を通じて中国九州地区12県の学校給食会にパイン・黒糖を供給し、その内パイン2,028kg、黒糖8,184kgを県内の学校給食へ供給した。また、令和4年1月から新規商品として、ひとくち黒糖、県産フルーツを使用したジャム（パイン、シークワサー、たんかん）を取り扱い開始し、西表産黒米を使用した黒米粉パン、県産黒糖を使用した黒糖パン、県産紅芋を使用した紅芋パン、県産モズク等県産素材を使用して県内加工メーカーで商品化した約40品目（年間150,856kg、金額112,827千円）を県内児童生徒へ供給した。